

9月定例会の概要



351回目となる9月定例会を、9月16日から10月24日までの39日間の日程で開催しました。今定例会には、知事から補正予算案や決算認定議案など25議案が提出されました。

開会日には、荒井知事から提案理由の説明を受け、その後、4日間にわたって14人の議員が県政全般について代表質問や一般質問を行い、活発な議論をしました。

また、5つの常任委員会のほか、予算審査特別委員会及び決算審査特別委員会を開催し、付託議案の審査などを行った上で、一般会計補正予算などの議案について、いずれも原案どおり可決、承認、認定等しました。

奈良県議会

だより | vol.55

発行／奈良県議会
編集／議会広報委員会

令和4年12月1日発行

〒630-8501 奈良市登大路町30番地 ☎0742-27-8964



奈良県議会だよりは2、5、8、12月の年4回発行予定です

決算審査特別委員会を開催

令和3年度の歳入歳出決算などを審査するため、当委員会を設置し、10月13日から19日までの間に5日間開催しました。

委員会では、各委員からの活発な質疑に対し、知事をはじめ関係者から詳細な説明が行われ、付託議案については原案どおり認定等しました。

決算審査特別委員会委員(定数9名)

委員長 田尻 匠 (新政なら)

副委員長 小村 尚己 (自由民主党)

委員

樋口 清士(自由民主党) 山中 益敏(公明党)
川口 延良(自民党連合・創生) 疋田 進一(無所属)
山村 幸穂(日本共産党) 小泉 米造(自民党優)
川口 正志(自民党連合・創生)

予算審査特別委員会を開催

令和4年度補正予算案を審査するため、当委員会を設置し、10月4日から6日まで3日間開催しました。

委員会では、各委員からの活発な質疑に対し、知事をはじめ関係者から詳細な説明が行われ、付託議案については原案どおり可決しました。

予算審査特別委員会委員(定数9名)

委員長 田中 惟允 (自由民主党)

副委員長 階戸 幸一 (新政なら)

委員

植村 佳史(自由民主党) 太田 敦(日本共産党)
阪口 保(無所属) 奥山 博康(自民党優)
和田 恵治(自民党連合・創生) 森山 賀文(新政なら)
粒谷 友示(自民党連合・創生)

9月定例会 議決結果

※全ての議案等の件名及び議員別の表決結果は、ホームページに掲載しています。



項目	件数	件名	議決結果
知事提出の予算案件	5件	令和4年度奈良県一般会計補正予算(第4号) 等	原案可決
知事提出の条例案件	2件	奈良県附属機関に関する条例の一部を改正する条例 等	原案可決
知事提出のその他案件	3件	令和3年度奈良県歳入歳出決算の認定について 等	原案認定
	4件	中町「道の駅」整備事業にかかる請負契約の締結について 等	原案可決
	1件	人事委員会の委員の選任について	原案同意
	1件	地方自治法第179条第1項の規定による専決処分の報告について	原案承認
	9件	公立大学法人奈良県立大学の経営状況の報告について 等	報告受理



リニア中央新幹線 について

こいずみ よぞぶろ
小泉 米造議員 (自民党)

問 奈良市附近駅的位置・県内ルート
の決定に向け、今後どのように取り組
むのか。また、駅の設置は、駅周辺のまち
づくりのみならず紀伊半島全体にわたる
広域的な活性化にもつながると期待され
るがどうか。

答 決定に向けては、用地取得の確実
性、発生土活用先の確保、文化財・
環境等への配慮、交通結節性の確保、駅
周辺のまちづくり、地域全体の将来的な
発展可能性の6項目が重要な課題とな
る。今後、事業主体であるJR東海とも緊
密に協力し、これらの課題解決に向け、
検討を進めていく。

広域的な活性化には交流人口の拡大や
観光振興を図ることが重要であり、より
広範な観光ルートの形成が期待できる。
奈良市附近駅と関西国際空港を直結す
る接続線を整備する構想の検討を県で
は進めている。

他の質問項目

- ヤングケアラー
- がん対策の現状と今後の取組方針
- 健康寿命日本一
- GIGAスクール環境下における体育授業の充実
- 中央卸売市場の再整備



奈良県の 農業産出額について

さとう みつのり
佐藤 光紀議員 (日本維新の会)

問 奈良県の農業産出額の向上に向け
て、個の生産から組織化された農業
へと転換していく必要があると考える
が、今後どのように取り組んでいくのか。

答 これまでも、農業法人や集落営農
組織の育成に取り組んできている
が、農業法人で働く方の不足や優良農
地の確保、集落営農組織の構成員の高
齢化などの課題が明確になってきてい
る。

そのため、県独自の新たな取組として、
平成30年度より、「特定農業振興ゾ
ン」を設定し、国庫補助も十分活用しな
がら、区画の大規模化や高収益作物へ
の転換・導入とともに、農業法人や集
落営農組織などの育成に努めている。
農業への企業参入なども視野に入れ
つつ、より良い農業と農業産出額向上に
つなげていきたい。

他の質問項目

- 第五管区海上保安本部との包括連携協定
- パークアンドライドなどを活用した観光振興
- 平城宮跡南側地区の公園整備
- 奈良県の歩道整備
- 公営ポスター掲示場



学研高山地区第2工区 のまちづくりについて

つたに ともし
粒谷 友示議員 (自民党・新生)

問 学研高山地区第2工区のまちづくり
について、今後県としてどのように
関わっていくのか。

答 生駒市は、本年6月、市が目指す当
該地区のまちづくりの方針をまと
められたが、ベッドタウンとして発展し
てきた生駒市が、将来を見据え、地域の自
立を目指した産業中心のまちづくりに主
体的に取り組まれることを評価してい
る。

生駒市からは、県が策定した「関西文
化学術研究都市の建設に関する計画」の
変更等について、相談を受けている。こ
の計画はUR計画当時の住宅地を中心と
したまちづくりのままとなっており、変更
の必要性を認識しているが、そのため
にも、生駒市がまちづくりの検討を、よ
り具体的に示される必要があると考
えている。引き続き、生駒市の取組に協
力してまいりたい。

他の質問項目

- 新型コロナウイルス感染症への対応
- 企業誘致
- 県職員の勤務環境の改善
- デジタル化の推進
- 音楽による文化振興
- なら食と農の魅力創造国際大学校附設セミナーハウス
- 横断歩道の安全対策
- 民間人材の教員への活用



県と旧統一教会の 関わりについて

いまい みつこ
今井 光子議員 (日本共産党)

問 県と世界平和統一家庭連合(旧統
一教会)は、これまでどのような関
わりがあったのか。また、旧統一教会との
関係は今後一切断ち切るべきと考えるが
どうか。

答 令和元年から令和3年に開催され
た旧統一教会関連団体の自転車イ
ベントに県の課長が計3回出席し、知事
名の挨拶文を代読したほか、県主催の
「大和川一斉清掃」への当該団体のポ
ランテア参加が確認されたが、その他の
関わりは確認されなかった。

今後、各種行事に関し、職員の出
席、祝辞等の要請があった際には、社
会的に問題が指摘される団体からの
ものではないか情報収集して、より慎重
に対応し、県が誤解を招く対応をしない
よう徹底していく。また、旧統一教会
問題の相談窓口の設置について、検討
していく。

他の質問項目

- 安倍元総理の国葬
- 「奈良新「都」づくり戦略」
- 新西和医療センターの整備
- 高齢者施設における新型コロナウイルス感染症のクラスター対策
- 平群町のメガソーラー開発計画



大和平野中央田園 都市構想について

なかの たかし
中野 雅史議員 (自由民主党)

問 大和平野中央田園都市構想のもと
で進めている県立大学工学系新学
部の設置構想について、今後、どのよ
うに取り組んでいくのか。

答 高度な産学官連携を実現する上
で大学院が果たす役割を重視し、学
部に先行して大学院を優先して設置す
る方向で検討している。県内の既存施
設等を仮キャンパスとして、可能な限り
早期に大学院を設置し、その後、三宅町
におけるスタートアップヴィレッジの完
成に合わせ学部を併設したい。

また、新たな給与報酬の仕組みづくり
など、幅広い年代の優秀な人材が教員・
研究者として活躍できる環境の構築を
目指し、県立大学とは別の新たな大学
として設置する方向で検討している。県
全体の発展に資する工学系新大学の設
置に向け、引き続き着実に取り組んで
いく。

他の質問項目

- 大規模広域防災拠点の整備
- 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催
- 保育所、幼稚園等における通園バスの安全管理対策
- 奈良県中小企業会館及び奈良商工会議所会館の活用検討
- ガストロノミーツーリズム世界フォーラム
- まほろば健康パークの整備
- 新しい警察本部長の所信
- 本県の児童生徒の「学ぶ力」「生きる力」のはぐみ



「見えないハンデ」を 持つ子どもたちへの 支援について

おとす みつひさ
尾崎 充典議員 (新政なら)

問 認知機能の一部が弱い子ども達が
その兆候を見逃され続けた結果、非
行に走り警察に逮捕されるという不
条理な現実がある。必要な支援につ
なげ非行に走るのを防ぐための啓発
と支援の構築が重要と考えるがどうか。

答 生きづらさを抱えた子どもたち
や家族に、寄り添い、継続して伴走
できる支援の仕組みの構築が必要で
あり、新しい障害福祉の条例の検討を
進めている。兆候の気づきへの対応
には、「まほろば「あいサポート運動」」
の内容を一層工夫・充実させ、啓発に
努める。また、必要な支援につな
げ、継続するため、市町村等と連携
して、解決策を協議し、寄り添い、
必要な支援を届けられる仕組み
を構築する。今後も誰もが社会の一
員として包摂される日本一福祉の進
んだ奈良県づくりを進めていく。



法医学解剖医の育成に向けた取組について

おおくま ひろあき
奥山 博康議員 (自民党)

問 司法解剖を担う県立医科大学の法医学教室における医師の負担軽減及び人材育成に向けて、今後県としてどのように取り組んでいくのか。

答 法医学医を志す医師がしっかりと学べる環境づくりとして、知識や技能を高めることのできる研修プログラムの充実や、医学生や研修医に対するプロモーション活動など効果的な支援策について、県立医科大学と検討していく。また、医師の負担軽減には、機器の導入や研究環境の整備も重要であり、新キャンパスへの移転の際に必要な整備を行いたい。

他の質問項目

●医療従事者の帰院手段の確保 ●道路・河川整備 ●スポーツ施設の整備



薬事研究センターについて

かわうち まさひろ
川口 正志議員 (自民党連合会)

問 令和2年に耐震工事を凍結した経緯と、その後のセンターのあり方の検討状況はどうか。また、今後、どのような役割を担い、いつ、どのくらいの時間をかけて改築を行うのか。

答 センターは耐震改修だけでなく、薬業振興の中心組織として強化する必要があると考え、今後の担うべき役割やあり方について議論するため、有識者ヒアリングを実施した。10月には、具体化に繋げるため、薬業にかかる懇談会を立ち上げ、奈良県の薬業振興の発展に繋げていきたい。

他の質問項目

●南東部地域の振興と交流の促進 ●漢方のメッカ推進プロジェクト



介護人材の確保について

やまの まさとし
山中 益敏議員 (公明党)

問 県の介護人材の確保状況はどうか。確保には、求職者と求人事業所との的確なマッチングや介護職の処遇改善、就職前の学生等への効果的なアプローチなどが必要と考えるが、今後どう取り組んでいくのか。

答 本県の介護人材は、令和元年度時点の2万5千4百人から多少増加傾向にあるが、深刻な状況。そこで、賃金アップに向けて介護保険報酬の処遇改善加算が適切に適用されるよう指導・助言するとともに、県の認証制度や補助金により、魅力づくりと魅力の向上に向けた介護現場の取組を促す。また、福祉人材センターと連携し、若い世代に、仕事の魅力を的確かつ効果的に発信し、求職と求人のマッチングに繋げる。さらに、県協議会等により現場関係者の意見をいただきながら、取組を一層進める。

他の質問項目

●「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録 ●今後の奈良県農業の振興 ●新型コロナウイルス感染症対策 ●大和川流域の流域治水対策 ●県立学校におけるインクルーシブ教育の推進 ●物価高騰の影響を受けている生活衛生業をはじめとする事業者への支援

質問・答弁の全文は

代表質問・一般質問とその答弁を掲載した会議録を、次の定例会開会までに奈良県議会ホームページに掲載します。



災害時における安否不明者の氏名公表について

のむら しんや
小村 尚己議員 (自由民主党)

問 災害時における安否不明者の氏名公表について、奈良県の状況はどうか。

答 本県では、個人情報保護の重要性を鑑み、家族の意向を原則として、個別災害事案毎にメリット・デメリットを比較検討のうえで、対応することとしている。現在、国において、災害時の個人情報の取り扱い指針の検討が進められており、本年度内にも示される予定。この指針を踏まえ、安否不明者の氏名公表に係る手続などを時間を置かず作成し、今後の災害発生時の救助活動の効率化・円滑化に役立てていく。

他の質問項目

●国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機とした人材の育成 ●奈良県再設置の広報 ●運動部活動の地域移行



子育て世代に対する支援について

さくらい けんいち
階戸 幸一議員 (新政なら)

問 子育て世代の就労と子育てを両立するためには、子育てに対する負担感を軽減するための施策が重要と考えるが、どのように取り組んでいくのか。

答 県では、保育の無償化や保育施設の定員増のほか、保育士資格取得のための資金貸与など、人材育成にも努めている。また、企業向けセミナーを開催し、改正育児・介護休業法の啓発や父親向けの子育て研修動画の紹介など、就労と子育ての両立支援を進めている。今後も安心して子どもを産み育てられる奈良県づくりを進める。

他の質問項目

●人口減少社会・多様性社会における雇用促進 ●地域の特性を活かした農業振興 ●高齢者の介護予防の取組



奈良っ子はぐくみキャンペーンについて

かわくち のぶゆき
川口 延良議員 (自民党連合会)

問 奈良っ子はぐくみキャンペーンは、子育て家庭の応援及び奈良の特産品のPRに効果的な取組であり、一層の利用促進を図るべきと考えるが、現状と今後の取組はどうか。

答 なら子育て応援はぐくみストアでの割引クーポンを使った買い物件数は、9月28日時点で約2万1千件、「なら子育て応援団」の登録者数も、約6万6千人と、約1万7千人増加した。今後も、SNSを活用した広報強化や品揃えの充実により、キャンペーンを盛り上げ、社会全体で子どもを育む機運を醸成していく。

他の質問項目

●県職員の確保及び育成 ●なら歴史芸術文化村 ●高齢者の活動自覚に伴う体力低下 ●学校における医療的ケアを必要とする児童生徒



県の林業施策の広報・周知について

たなか けんじ
田中 惟允議員 (自由民主党)

問 林業のあり方や今後の方針など県の林業施策について、県内市町村や森林組合のみならず、広く県民に伝えるべきと考えるが、今後どのように広報・周知していくのか。

答 県独自の新たな森林環境管理制度などについて、県民だよりや奈良テレビ、イベント会場などで紹介している。また、県内小学生に副読本を配付し、県の林業や森林環境税を使った取組の紹介を行っている。今後もジャーナルやSNS等で、奈良県フォレストの活動など全国初の取組を改めて広く周知していく。

他の質問項目

●東部地域の振興施策 ●循環器病対策 ●マイナンバーカードの健康保険証利用 ●省力化技術を活用した農業支援 ●国道165号の整備



流域下水道及び流域関連公共下水道施設の雨水対策について

いのお まさとし
井岡 正徳議員 (自由民主党)

問 台風やゲリラ豪雨時など、大量の雨水により下水道施設に負荷がかかる状況でも、安定した下水処理を行うため、県はどのように取り組んでいるのか。

答 雨天時浸入水が主な原因である公共下水道の汚水管渠の老朽化は、その対策を市町村が行っており、県は雨天時浸入水の多い地区の特定や原因究明、補助金による支援や、対策工事の助言等を行い、対策の促進に取り組んでいる。今後も、県下全域の持続的、安定的な下水道機能の確保、良質なサービスの提供に向けて取り組んでいく。

他の質問項目

●大和平野中央田園都市構想における官民連携 ●国民健康保険改革の取組 ●女性の起業に対する支援 ●奈良県長期水需給計画の進捗等

第16回紀伊半島三県議会交流会議を開催しました

第16回紀伊半島三県議会交流会議が、7月14日に奈良県五條総合庁舎にて開催されました。

この会議は、紀伊半島三県(三重県、奈良県、和歌山県)の議員が一堂に会し、紀伊半島の振興及び発展に資するため、直面している共通課題について意見交換を行うことを目的として、毎年開催されています。今回の会議も、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期した上で進められました。

本県議会からは、西川副議長をはじめ7人の議員が参加し、観光振興や熊野川流域の総合的な治水対策及び土砂災害対策について、活発な意見交換を行い、今後とも情報共有するなど三県議会が連携して、国に要望していくことで合意しました。



会議の様子

高校生議会を開催しました

8月19日、今年で10回目となる高校生議会を開催しました。

県立香芝高等学校、県立高取国際高等学校、関西中央高等学校、県立国際高等学校、大和高田市立高田商業高等学校、智辯学園奈良カレッジ高等部の6校から29名の高校生議員が参加しました。

開会に当たり、岩田議長から激励の言葉があった後、本会議では、高校生議長の議事進行で会議が進められ、参加した高校生議員からは、在宅で介護サービスを受けるための支援、道路の無電柱化におけるメリットとデメリット、リニア中央新幹線開通に伴うまちの活性化、安全・安心な通学路づくり、介護政策、民有林の適正な森林管理を促進するための取組など、15の質問がありました。

また、大和野菜をはじめとする奈良の魅力を知ってもらう体験型観光の振興や、SNSを活用した奈良県のさらなる情報発信についてなど6つの提言が行われ、すべて満場一致で可決されました。

本会議終了後には、「若者の政治への参加」をテーマに、議員体験の感想などについて、県議会議員との意見交換を行いました。



可決した意見書

この定例会では、意見書3件を可決しました。意見書は、内閣総理大臣のほか関係大臣などに提出しました。

意見書

- ・予防接種に関する記録の延長を求める意見書
- ・シルバー人材センターの安定的な事業運営のために適格請求書等保存方式(インボイス制度)導入にかかる適切な措置を求める意見書
- ・女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

県議会会派の変更がありました

会派の変更があり、令和4年8月31日時点の会派名及び会派人数は下記のとおりです。議員の所属会派の詳細は、県議会ホームページをご覧ください。

- | | | | |
|--------|----|-----------|----|
| ・自由民主党 | 9名 | ・自民党連合・創生 | 9名 |
| ・自民党優 | 6名 | ・新政なら | 5名 |
| ・日本共産党 | 4名 | ・日本維新の会 | 3名 |
| ・公明党 | 3名 | ・無所属議員 | 2名 |

議会の様子をテレビやインターネットで視聴できます

- ▶奈良テレビでは、本会議の代表・一般質問を生中継しています。
- ▶インターネット動画では、本会議の全日程や委員会の審議の様子をライブ配信するとともに、録画配信も行っています。

※感染予防のため、可能な限りこちらをご活用願います。

奈良県議会中継 検索

